



第6回

「高校生よかアイデア コンテスト」開催

学長賞は大島北高等学校

高校生が地域の活性化に向けたアイデアを発表し、その独創性などを競う第6回「高校生よかアイデアコンテスト」(主催：鹿児島国際大学)の最終審査会が2月26日に本学で開催され、最高賞の学長賞には、大島北高等学校の「わんきゃが救いたいっちょ！摘果タンカンと農家の心！」が選ばれました。

この作品は、タンカンの栽培過程の摘果作業で生じる摘果タンカンがすべて廃棄されている現状に着目して、摘果タンカンを活用した、タンカン湯、タンカンウォーターやアルコール消毒液など、地域活性化策やタンカン農家に対する支援策を提案したものです。

また、優秀賞には、廃棄される鹿児島県産の花弁や野菜を再利用して、いくつかの実験を繰り返しながら、本来の花弁の色だけでネイルを創作して、花や野菜の廃棄量削減などに繋がるアイデアを発表した国分高等学校の「Reborn Nail Color ～フラーワロス・フードロス削減を通した地域貢献策の提案～」が選出されました。

本コンテストは、高校生に地域の課題を考えるきっかけにしておうと、本学が高大連携事業の一環として2016年に創設。今回は229件の応募の中から一次選考を通過した10校12組の高校生が、最終審査会に臨みました。

最終審査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面による発表会を中止し、プレゼン動画(ビデオ)視聴による審査会となりました。

審査には本学の久保幸夫学長をはじめ、自治体、関係団体、企業、マスコミ関係者など10人が当たりました。審査結果は右のとおり。【 】内はチーム名。



〔令和3年度最終審査員〕

吉松 和倫(鹿児島県教育庁高校教育課指導主事)
江平 恒博(南九州市副市長)
有馬 浩一郎(JA鹿児島県中央会総合企画部長)
飯森 利徳(鹿児島銀行地域支援部地域開発室長)
山崎 兼敏(南日本放送取締役 ネットワーク局長)
重島 修一(南日本新聞社読者センター副部長)
大久保 幸夫(本学学長)
千々岩 弘一(本学副学長・産学官地域連携センター長)
寺師 一穂(本学事務局長)
平出 宜勝(本学経済学部講師)
※所属等は審査会当時のもの



学長賞を受賞した大島北高等学校 表書式をオンラインで実施

👑 学長賞

- ・わんきゃが救いたいっちょ！摘果タンカンと農家の心！
大島北高等学校【アマンタンカン救い隊】

👑 優秀賞

- ・Reborn Nail Color
～フラーワロス・フードロス削減を通した地域貢献策の提案～
国分高等学校【フラーネイル班】

👑 準優秀賞

- ・R(令和) mix E(江戸) ～時代を超えたゴミ革命～
鹿児島情報高等学校【改革してみ隊】
- ・ペットシッターとハウスクリーニングのコラボで新ビジネス
市来農芸高等学校【自主研究班】

👑 審査員特別賞

- ・「コロナ感染沈静化後の鹿児島を元気づけよう」
各所の偉人仮装大会を開催！
鹿児島高等学校【チームあーず】

👑 佳作

- ・めっちゃあまいまめこぞうを食べよう
～指宿特産まめこぞうの料理研究と普及を目指して～
山川高等学校【山高家庭クラブ2021】
- ・災害に備えよう！
串良商業高等学校【Espoir】
- ・急に降り出した雨で発電？！
鹿児島純心女子高等学校【社会同好会】
- ・海の旅
クラーク記念国際高等学校鹿児島キャンパス【Ocean Company】
- ・甜瓜一品(てんかいっぴん)～川辺メロンを救え～
鳳凰高等学校【Save the Melon】
- ・本場の太極拳を肌で感じるプロジェクト
鹿児島純心女子高等学校【mö クク】
- ・鹿児島の食材でがん予防のお弁当を作ろう！
鹿児島情報高等学校【みんなに笑顔を届け隊】



優秀賞を受賞した国分高等学校で表彰式を実施



謎解きイベントに サポートメンバー として参加！

国際文化学科 松尾ゼミ

3月12日、本願寺鹿児島別院（鹿児島市東千石町）でおこなわれた謎解きイベントに、本学国際文化学科の日本語学ゼミ（松尾ゼミ）の所属学生がサポートメンバーとして参加しました。

今回は、本学地域フィールドワーク演習で協力を仰いでいる井上健悟氏（企画団体 SpiceProject 代表）の依頼を受けて、謎解き脱出ゲーム「地獄からの脱出 等活篇」の運営への協力をおこないました。今回の謎解きイベントのテーマは「地獄」。本願寺鹿児島別院の仏教青年会の方々とも連携を図り、仏教に触れながら謎解きに挑戦することで、楽しいだけではなく仏教に



についての「学び・気づき・生きる知恵」を考えるような内容となっていました。

イベントサポートをおこなったゼミ生たちからは、「今回はイベントの趣旨説明やストーリーのナレーションを担当したが、メンバー同士で協力しながら楽しく司会進行をおこなうことができた」（国際文化学科2年・田原未夢さん〔武岡台高校出身〕）、「楽しい謎解きイベントの運営に携わることができて嬉しかった。自分がちゃんと運営出来ていたかは分からないが、楽しかったいろいろな勉強になった」（国際文化学科2年・阿久根菜月さん〔錦江湾高校出身〕）といった声が聞かれ、学生たちが心から楽しみながらサポートにあたった様子がうかがえます。

担当の松尾准教授は「普段はなかなか接する機会のないお寺の方々との対話を通じて、学生たちも大きな学びを得たのではないかなと思う。今回のイベントは、お寺と大学とのコラボレーションという、ユニークな地域貢献ができたように感じる」と語っています。（学生の学年は当時のまま）



地元企業よかところ発見！ 見学ツアー開催！

大学地域コンソーシアム鹿児島が主催する「地元企業よかところ発見！見学ツアー」が2～3月に4コースで行われました。本学担当の南薩コースは唯一対面で実施し、他大学生を含む9人が参加しました。

株式会社エルム（南さつま市加世田）、有限会社エール（指宿市開聞町）、サツマ酸素株式会社（鹿児島市）の3社を訪問し、鹿児島から世界へ向けて

事業を展開している様子や、地域活性化に貢献しようと取り組んでいる事業などについて、直接話を伺いました。

コロナ禍で学生の研修等に制約がかかる中、受け入れ企業にも感染対策にご協力を頂き、万全を期して無事に実施することができました。参加した学生は、貴重な機会をいただき、深い学びにつながったと大変満足した様子でした。

